



区長からのメッセージ

東日本大震災から7年が経ちました。私は、震災当時、恐ろしい津波の映像や福島第一原子力発電所の事故の報道を見てなんとか事態を改善したいと思い、原発事故から約2週間後、事故で孤立した福島県南相馬市に行きました。実際に現場を見て、非常事態が発生した時、最終的に自治体が住民を守るんだと強く思ったことを今でも覚えています。

その後も毎年、被災地を訪問しています。被災地では、住宅の高台移転など大津波対策が進んでいますが、まだ多くの課題が山積みになっています。東日本大震災は“過去”の災害ではありません。震災と津波の傷跡はまだ深く、復興の道が見えてきたという段階です。今後とも世田谷区では、職員派遣や東日本大震災復興支援金の取り組みを継続し被災地を支援してまいります。

「ふくしまっ子リフレッシュin世田谷」は、福島第一原発事故の発生以来、福島県内の多くの子どもたちが、外で思いきり遊ぶことが難しいという状況を聞いて、何か子どもたちにできることはないだろうか考えた区民の皆さんが主体となり、区と教育委員会が連携・共催する形で2012年1月からスタートしました。2017年冬までにのべ1,144人の福島の親子福島を世田谷に迎えています。

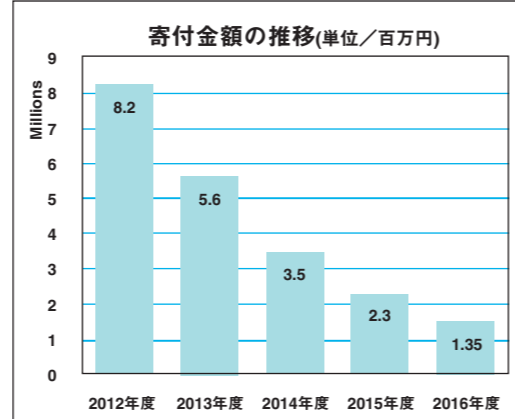
東京電力福島第一原発の事故による放射能の影響が懸念される中、福島で暮らす子どもたちが世田谷の公園やプレーパークなどで最終日まで思いきり外遊びを満喫することができる本事業が継続できるのも、多くの区民の方からの寄附や実行委員の皆さんの熱意によるものであり感謝申し上げる次第です。これからも引き続き「ふくしまっ子リフレッシュin世田谷」を応援していきたいと思っています。



保坂展人

ご寄付のお願い

「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」は、2012年1月に世田谷区内で活動している20の市民団体と個人で結成されました。2011年3.11原発事故後、福島等放射線量が高いところで暮らさざるをえなく、外遊びが十分にできない子どもたちとその保護者への支援を目的に活動する任意団体です。春・夏・冬の長期休暇に世田谷で思い切り遊んでリフレッシュするプログラムは世田谷区、世田谷区教育委員会、世田谷区社会福祉協議会、世田谷ボランティア協会の共催を受け、宿舍提供、チラシ配布、募金などの協力をいただいています。
私たちの活動は皆さまのご支援に支えられています。
息長くこの活動を続けられるよう、ご支援、ご協力をお願いします。



口座名義：「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」

城南信用金庫

経堂支店(028)
普通401710

※城南信用金庫は振込手数料がかかります。

ゆうちょ銀行

記号10190 他金融機関から振り込み場合
番号62213481 店名〇一八(018)
普通6221348

三菱東京UFJ銀行

経堂支店(091)
普通0268263

【福島の子どもたちとともに・世田谷の会 構成団体】

世田谷こどもいのちのネットワーク/世田谷市民運動 いち/NPO 僕んち/人の泉・オープンスペース“Be!”
一枚の葉を森へ/セイブ・ザ・下北沢/トランジション世田谷 茶沢会
世田谷こども守る会/NPO 法人プレーパークせたがや/空間の感触/
優れたドキュメンタリー映画を観る会/「月桃の花」歌舞団・世田谷/ 世田谷区教職員組合
自主保育野毛風の子/福島避難母子の会in 関東/神戸をわすれない・せたがや
SAN/NPO 法人野沢3丁目遊び場づくりの会/自主ようちえんひろば/NPO法人 世田谷マンション管理組合ネットワーク
＜協力団体＞生活クラブ運動グループ世田谷地域協議会

福島の子どもたちとともに・世田谷の会
ホームページ：<http://savefukukids.jimdo.com>
メール：fuku.seta.tomoni@gmail.com

編集：矢島佐世・星野弥生 デザイン：荒木直子

ふくしまっ子リフレッシュin世田谷 2017年度 活動報告書

【主催】 福島の子どもたちとともに・世田谷の会

【共催】 世田谷区 世田谷区教育委員会 (社福)世田谷ボランティア協会 (社福)世田谷区社会福祉協議会

